

◎☆印の線で示したように、行の流れと行どうしの関係に注意して書きます

高校 (D)

俳句 赤とんぼ筑波に雲もなかりけり あかとんぼ つくばにくももなかりけり

大平恵理書



◎①②、特に文字の連続では息を切らさないように

筑波は茨城県の筑波山のことだと言われている。雲ひとつない秋の空と赤とんぼの対比があざやか。(正岡子規)

日本書字文化協会

文字の大きさ、線の太さ、墨の
つけ具合、かすれなど、紙面全体
とのバランスを考慮して

①②⑤で示した一行目の文字と文字の切れ目の
空間の図が「高」には、二行目の文字の切れ目が
「な」(なま)に